

II 学校教育 学校管理課

1. 学校管理課 Tel : 049-224-6109 E-mail : gakokanri@city.kawagoe.saitama.jp

(1) 校種間連携教育

【令和元年度事業予定】

- ・川越市教育の一層の充実のため、小中学校等の校種間連携を進める。
- ・教育委員会と学校が車の両輪として教育を推進するために、定期的に学校訪問を行い、学校と教育委員会の意思疎通を図り、教育の充実に資する。

構成 小中連携

(下線は委嘱校)

グループ	学校名
1	川越第一中、初雁中、富士見中、 <u>山田中</u> 川越第一小、川越小、中央小、仙波小、月越小、今成小、 <u>山田小</u>
2	<u>野田中</u> 、城南中、大東中、大東西中 武蔵野小、新宿小、大塚小、 <u>泉小</u> 、大東東小、大東西小
3	芳野中、東中、 <u>南古谷中</u> 芳野小、古谷小、 <u>南古谷小</u> 、牛子小
4	高階中、砂中、 <u>福原中</u> <u>高階小</u> 、高階北小、 <u>福原小</u>
5	高階西中、 <u>寺尾中</u> <u>高階南小</u> 、高階西小、 <u>寺尾小</u>
6	<u>霞ヶ関中</u> 、霞ヶ関西中 <u>霞ヶ関小</u> 、 <u>霞ヶ関南小</u> 、霞ヶ関西小
7	霞ヶ関東中、 <u>川越西中</u> 霞ヶ関北小、霞ヶ関東小、 <u>川越西小</u>
8	<u>名細中</u> 、鯨井中、 <u>名細小</u> 、上戸小、 <u>広谷小</u>

※ ブロックをまたいで接続校と連携する場合もある。

中高連携

(下線は委嘱校)

学校名
<u>市立川越高</u> 、 <u>城南中</u> 、 <u>高階西中</u> 、 <u>寺尾中</u>

中高特別支援教育連携

学校名
市立特別支援学校、初雁中、富士見中

※ 市立特別支援学校は、川越市の特別支援教育のセンターとして、他の小・中学校とも随時、必要に応じて連携する。

小中連携教育研究指定校

(下線は委嘱校)

学校名
<u>福原中</u> 、 <u>福原小</u> <u>霞ヶ関中</u> 、 <u>霞ヶ関小</u> 、 <u>霞ヶ関南小</u>

【平成30年度事業実績】

- ・異校種間での教職員の交流（合同研修等）や児童と中学生の交流が、質・量とも充実してきた。

(2) かわごえミドルリーダー研修

【令和元年度事業予定】

・ミドルリーダーとして、教育に対する識見を高め、学校課題の分析と解決プランの立案、組織マネジメント、人材育成、危機管理等に必要な資質の向上を図ることを通して、学校運営を推進する人材を育成する。

①年間9回、3年で計27回の研修を行う。1年だけの受講も可。

②各年度の研修参加人数は30人程度とする。

③「かわごえ異業種体験研修」に替わり平成27年度より始まり、今年度5年目を迎える。

【平成30年度事業実績】

・年間9回の研修を実施し、21人が参加した。

(3) オールマイティーチャーター配置事業

【令和元年度事業予定】

・学校における課題に応じて教員を配置し、生徒指導体制の充実や学力向上に向け、子どもたち一人ひとりに応じたきめ細かな教育活動を推進する。

【平成30年度事業実績】

・小学校3校に3人、中学校13校に13人、計16人を配置した。

(4) 地域人材活用事業

【令和元年度事業予定】

・川越市立小・中・特別支援学校が特色ある学校づくりを推進していくため、指導体制を整え、多様な教育活動や体験活動が展開できるように、地域の方々と連携し、児童生徒の自主的・主体的な取組の一層の充実を図る。

【平成30年度事業実績】

①実施回数……233回

②ご協力いただいた地域の方々……延べ717人

③事業の一例……読み聞かせ・農業体験指導・和楽器演奏・お囃子指導・中学校運動部活動指導
中学校吹奏楽指導・小学校クラブ活動指導、地域の学習・学校行事の支援等

(5) 日本語指導ボランティア派遣事業

【令和元年度事業予定】

・小、中学校における日本語指導が必要な外国人児童生徒等を対象に、日本語指導ボランティアを派遣することにより、日本語の能力を向上させ、学習への理解を深め、学校生活により順応させることを図る。

【平成30年度事業実績】

①市内小中学校に在籍する児童生徒68人にボランティア27人を派遣した。

②派遣回数は延べ837回であった。

(1) 川越市小・中学校児童生徒健全育成事業「スクールランチ作戦事業」

【令和元年度事業予定】

- ・学級がうまく機能しない状況や非行・問題行動、不登校児童生徒の増加など、生徒指導上の諸課題への対応と児童生徒一人ひとりに細やかな指導・支援を行うために、市内小・中学校に生徒指導推進員（スクールランチ）を配置する。
スクールランチは、校長の指揮監督の下に、概ね以下の活動を行う。
 - ①児童生徒への支援、教師の補助
 - ②学校運営上の支援
 - ③その他校長が必要と認める教育活動等の支援

【平成30年度事業実績】

- ・スクールランチ配置状況
Ⅰ期26人46校配置 Ⅱ期26人46校配置 Ⅲ期26人46校配置

(2) 川越市中中学生社会体験事業

【令和元年度事業予定】

- ・地域の中で社会体験活動や多くの人々とのふれあいを通して、みずみずしい感性や社会性、自立心を中学生に養うとともに、勤労観や働く人としての基礎的・基本的な資質や能力を育成し、生徒一人ひとりが自分の生き方を見つけ、たくましく豊かに生きる力をはぐくむことをねらいとする。
 - ①実施対象……中学校第1学年または第2学年の生徒
 - ②実施場所……学区内の事業所を最優先とする。
 - ③実施期間……各学校が設定した2～3日間

【平成30年度事業実績】

- ・2,687人の生徒が延べ853事業所において、学校では経験できない体験を積んだ。

(3) トップアスリートふれあい事業

【令和元年度事業予定】

- ・近隣大学のスポーツ分野で活躍する教員・監督・コーチや学生を各市立小学校に招き、一緒に体を動かすことを通して、運動の楽しさを児童が実感するとともに、日常生活の中で主体的に運動、スポーツに親しむ態度や習慣を育成する。
 - ①体育の授業やクラブ活動における指導及びふれあい活動
 - ②全校の朝マラソンや持久走大会に向けての指導及びふれあい活動

【平成30年度事業実績】

- ・実施校 市内小学校6校（川越小、新宿小、泉小、月越小、高階南小、福原小）
- ・参加児童数 1,808人
- ・協力大学 東洋大学

(4) 科学わくわくラーニングプログラム～①小学生科学体験事業

【令和元年度事業予定】

- ・各市立小学校6年生の児童を対象に、講演会、実験・実習、施設見学等の体験活動を実施し、科学への興味・関心を醸成する。(夏季休業中に実施)
- ①オリエンテーション、専門家等による講演会
- ②小、中学校理科教員の指導による各種の実験・実習
- ③科学施設見学及び体験学習

【平成30年度事業実績】

- ・7月23日・24日の2日間にわたって開催(28日の科学未来館見学は台風のため中止)
- ・国立大学法人埼玉大学教育学部小倉康先生による講演「科学技術に関わる職業とは」
- ・実験、観察実習「液体窒素の不思議」「酸性・アルカリ性の秘密」

(5) 科学わくわくラーニングプログラム～②理科実験助手派遣事業

【令和元年度事業予定】

- ・理科実験助手を配置し、体験的な学習及び個別指導などを充実させ、児童の実験・実習の技能の向上、理科に対する興味・関心、知的好奇心や探究心を高める。(小学校18校、中学校8校)
- ①理科の実験・実習の準備や補助
- ②理科室・理科準備室の整備等

【平成30年度事業実績】

- ・27人の理科実験助手を、小学校15校、中学校12校に配置
- ・27校で合計553回(1回につき4時間)派遣

(6) 科学わくわくラーニングプログラム～③小・中・大学連携理科ふれあい事業

【令和元年度事業予定】

- ・理科の授業等に大学理系学部の教員・大学院生・大学生を派遣し、最新の方法で実験や観察を行い、児童生徒の興味・関心、意欲を醸成する。(3大学と連携 各市立小、中学校長からの申請に基づき、必要に応じて配置)
- ①授業内容に応じた実験・観察、発展的な実験・観察
- ②特別活動、総合的な学習の時間等における、児童生徒の興味・関心に応じた実験・観察

【平成30年度事業実績】

- ・東洋大学、城西大学、埼玉大学の3大学からの協力を得て、7人の講師・協力者を招へい
- ・小学校12校、中学校1校で事業実施
- ・751人の児童生徒が参加

(7) 川越市中学生学力調査

【令和元年度事業予定】

- ・義務教育の学習内容の定着状況を把握し、教育の成果を検証する川越市独自の調査とするとともに、進路指導の充実に資する。また、各学校及び教育委員会が教育指導上の課題を把握し、指導方法の工夫改善を図る資料とする。

①調査対象・・・全市立中学校22校の第1学年及び第3学年生徒全員

②調査対象教科・・・国語・数学・社会・理科・英語

③調査実施予定日・・・第1学年：1月24日

第3学年：第1回9月5日、第2回10月3日、第3回10月31日

【平成30年度事業実績】

- ・第3学年を対象に、第1回調査を9月6日、第2回調査を10月1日、第3回調査を11月7日に実施。第1学年を対象に、1月10日に実施。

(8) 学校図書館図書整理員配置

【令和元年度事業予定】

- ・学校図書館教育の充実に資するため、臨時事務職員(図書整理員)を配置する。図書整理員は、校長の指導の下に、概ね以下の活動を行う。

①学校図書館図書の受け入れ・廃棄・配架・貸し出し・返却等の事務

②学校図書館の美化・整理事務

③児童生徒の読書意欲の喚起や資料提供

④児童生徒や教職員への資料提供

【平成30年度事業実績】

- ・市立小・中・特別支援学校の全校に図書整理員を配置(合計30人)

- ・図書整理員の研修会を年3回開催

(9) ネットパトロール事業

【令和元年度事業予定】

- ・市内の全市立中・高等学校を対象に、生徒をネット上のいじめ等から守るために、学校非公式サイト等の検索及び書き込み等の監視をするとともに、24時間体制でいじめ等の相談や情報提供を受け付けるインターネット上の窓口を開設し、適切に対処する。

【平成30年度事業実績】

- ・市内の全市立中学校22校、市立高等学校を対象に、学校非公式サイト等の検索及び書き込み等の監視を通年で行った。

- ・79件の報告

悩み(学校生活)	25件	家族への不満	1件
----------	-----	--------	----

悩み(学校生活外)	16件	教師への不満	5件
-----------	-----	--------	----

特定個人への誹謗中傷	2件	動画の投稿	1件
------------	----	-------	----

不適切な内容	10件	その他	16件
--------	-----	-----	-----

学校・学級への誹謗中傷	3件		
-------------	----	--	--

※すべての学校に報告、指導・対応済み

学校保健

①令和元年度 学校保健関係行事

○ 児童生徒定期健康診断	(4月～6月)
○ 児童生徒心臓検診	(4月～6月)
○ 教職員健康診断	(4月～8月)
○ 保健主事研修会・養護教諭研修会	(4月～3月)
○ 学校飲料水検査	(5月)
○ 普通救命講習会	(5月)
○ B型肝炎予防接種(養護教諭)	(5月～3月)
○ 学校環境衛生一斉検査	(前期6月～10月、後期1月～3月)
○ 学校プール水質検査	(6月)
○ 児童生徒脊柱側弯検査	(6月)
○ 川越市学校保健会総会及び講演会	(7月)
○ 小児生活習慣病予防検診	(7月～9月)
○ 教室等の空気検査	(8月)
○ 学校環境衛生検査器具取扱い講習会	(7月)
○ 応急手当普及員講習会	(8月)
○ 学校保健広報「わかあゆ」発行	(9月・2月)
○ 学校歯科保健優良校地区審査会	(9月)
○ 砂場の細菌検査	(10月)
○ 就学時健康診断	(10月～11月)
○ 歯科保健指導	(10月～12月)
○ 歯科保健指導者研修会	(11月)
○ 埼玉県学校健康教育推進大会	(1月)
○ 学校保健会理事会	(3月)

II 学校教育 教育指導課

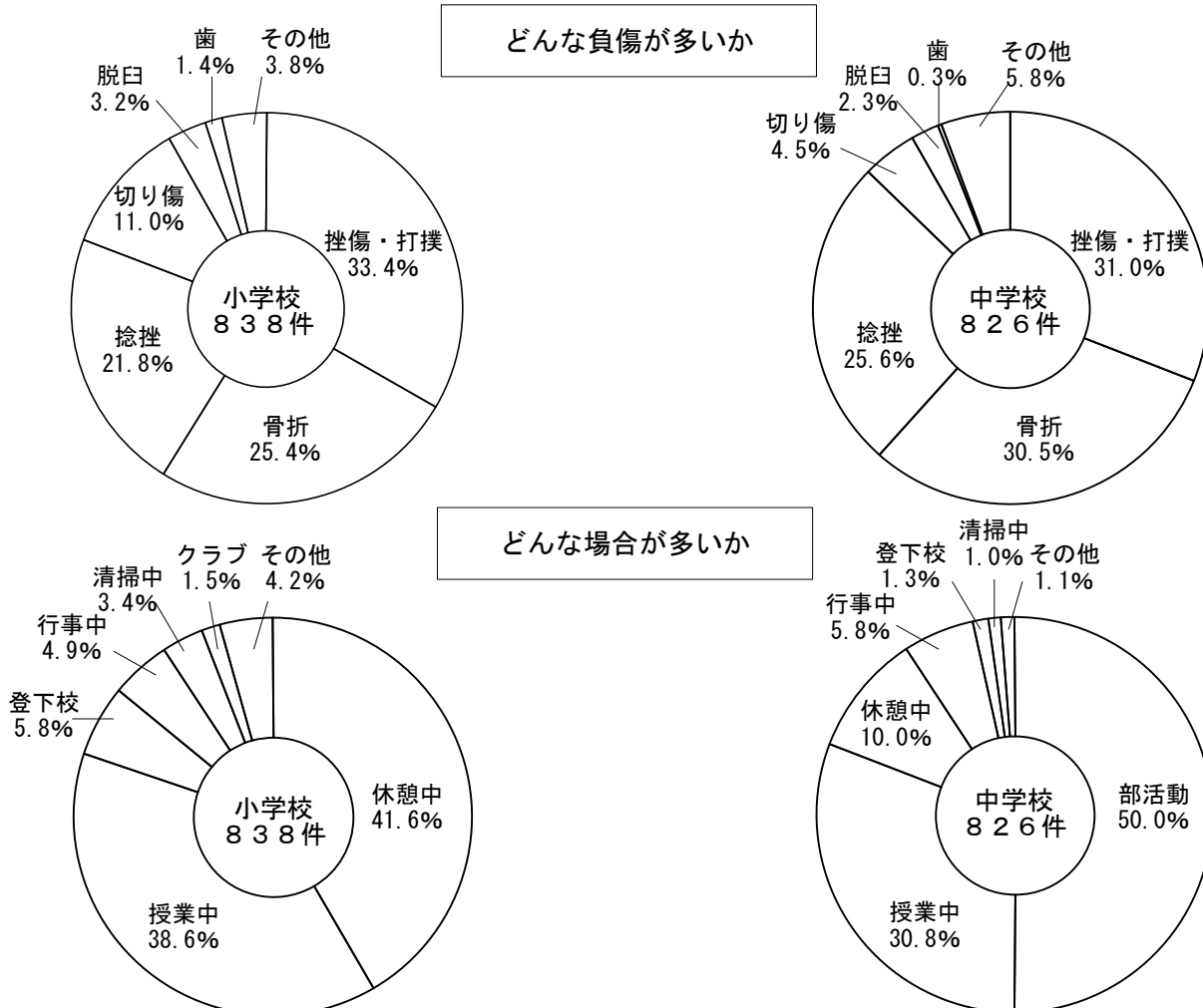
②平成30年度 日本スポーツ振興センター災害共済給付状況（医療費）

（単位：円）

月別	小学校		中学校		特別支援学校・市立高校		件数計	金額計
	件数	給付額	件数	給付額	件数	給付額		
4	137	950,790	164	1,291,092	41	440,542	342	2,682,424
5	170	1,118,071	152	904,008	23	440,675	345	2,462,754
6	118	856,825	140	1,115,325	27	169,516	285	2,141,666
7	115	584,740	137	835,731	12	43,796	264	1,464,267
8	110	748,821	158	895,826	12	69,574	280	1,714,221
9	125	841,175	127	1,208,141	32	159,620	284	2,208,936
10	57	296,206	70	488,916	17	105,960	144	891,082
11	130	674,955	166	1,693,078	18	493,048	314	2,861,081
12	89	55,124	156	1,560,422	16	404,963	261	2,020,509
1	121	646,930	130	1,198,658	9	73,760	260	1,919,348
2	135	967,290	108	774,316	14	234,968	257	1,976,574
3	103	624,616	137	728,038	27	291,280	267	1,643,934
計	1,410	8,365,543	1,645	12,693,551	248	2,927,702	3,303	23,986,796

※平成26年度給付総計 3,892件 28,789,434円
 平成27年度給付総計 3,456件 25,394,569円
 平成28年度給付総計 3,314件 25,134,273円
 平成29年度給付総計 3,503件 26,764,935円

③平成30年度 事故発生件数（日本スポーツ振興センターにかかわる事故による）



④児童生徒の体位

(平成30年度)

市 県 国 別	学 校 年 別	性 別	項目	身 長 (cm)				体 重 (kg)				
				市 平 均 値	市 標 準 偏 差	県 平 均 値	全 国 平 均 値	市 平 均 値	市 標 準 偏 差	県 平 均 値	全 国 平 均 値	
男	小 学 校		1	116.6	5.0	116.6	116.5	21.6	3.7	21.6	21.4	
			2	122.3	5.2	122.3	122.5	24.1	3.9	23.8	24.1	
			3	128.0	5.6	127.9	128.1	27.3	5.3	26.7	27.2	
			4	133.4	5.8	133.8	133.7	30.7	6.4	30.9	30.7	
			5	138.4	6.2	139.7	138.8	34.0	7.5	34.5	34.1	
			6	144.8	7.1	144.6	145.2	38.3	8.6	37.4	38.4	
	中 学 校		1	151.7	7.8	152.8	152.7	43.0	9.2	44.4	44.0	
			2	159.2	8.1	159.6	159.8	48.0	9.5	48.6	48.8	
			3	165.1	6.7	165.5	165.3	53.7	10.0	53.3	54.0	
	高 校		1	169.5	—	168.5	168.4	60.2	—	58.6	58.6	
			2	170.6	—	169.2	169.9	61.8	—	58.9	60.6	
			3	170.1	—	170.8	170.6	62.0	—	62.4	62.4	
	特 別 支 援		1	169.2	—	—	—	58.3	—	—	—	
			2	164.9	—	—	—	58.4	—	—	—	
			3	166.5	—	—	—	65.1	—	—	—	
	女	小 学 校		1	115.6	5.0	116.2	115.6	21.0	3.3	21.3	20.9
				2	121.4	5.1	121.6	121.5	23.6	3.9	23.5	23.5
				3	127.2	5.6	127.2	127.3	26.4	4.7	26.3	26.4
4				133.5	6.3	133.0	133.4	30.3	6.0	29.5	30.0	
5				139.8	6.8	140.1	140.1	34.2	7.0	34.0	34.1	
6				146.6	6.8	146.5	146.8	38.9	8.0	38.8	39.1	
中 学 校			1	151.6	6.1	151.9	151.9	43.5	7.8	43.6	43.7	
			2	154.6	5.4	154.9	154.9	47.0	7.3	47.1	47.2	
			3	156.5	5.4	156.6	156.6	50.5	8.0	50.0	49.9	
高 校			1	158.2	—	157.2	157.1	51.1	—	51.4	51.6	
			2	158.1	—	158.1	157.6	52.6	—	53.2	52.5	
			3	158.1	—	157.8	157.8	52.7	—	53.3	52.9	
特 別 支 援			1	157.0	—	—	—	46.3	—	—	—	
			2	154.6	—	—	—	52.3	—	—	—	
			3	153.6	—	—	—	49.5	—	—	—	

※県・全国の平均値は、平成30年度学校保健統計調査報告書（埼玉県総務部統計課発行）による。

※調査対象：県・全国は全国児童生徒数の一部を抽出。市は全児童生徒。

II 学校教育 教育指導課

⑤児童生徒の「新体力テスト」平均値

(平成30年度)

種目名	学 校		小 学 校						中 学 校		
	学 年		1	2	3	4	5	6	1	2	3
50m走(秒)	川越市	男子	11.52	10.62	10.23	9.79	9.24	8.90	8.57	7.90	7.45
		県	11.42	10.61	10.07	9.64	9.26	8.85	8.53	7.88	7.46
	川越市	女子	11.87	10.96	10.56	10.08	9.50	9.15	8.93	8.60	8.49
		県	11.75	10.93	10.36	9.90	9.48	9.08	8.92	8.60	8.50
立幅とび(cm)	川越市	男子	113.42	125.89	135.81	145.94	156.27	165.65	180.05	198.15	212.82
		県	117.04	128.59	139.20	148.32	157.30	168.18	182.53	200.91	215.80
	川越市	女子	106.11	118.24	128.35	139.65	149.59	159.62	169.06	175.52	178.69
		県	109.68	121.06	132.54	142.37	152.05	161.92	169.91	176.87	179.82
ボール投げ(m)	川越市	男子	7.97	11.18	14.45	17.82	20.94	24.45	17.80	21.19	24.15
		県	8.26	11.29	14.63	17.93	21.36	24.80	17.88	21.31	24.21
	川越市	女子	5.71	7.66	9.41	11.45	13.62	15.54	11.70	13.55	14.55
		県	5.84	7.67	9.73	11.69	13.92	15.99	12.10	13.90	15.04
握力(kg)	川越市	男子	9.17	10.80	12.56	14.32	16.52	19.08	23.40	29.00	34.30
		県	9.40	11.04	12.82	14.58	16.66	19.46	23.92	29.63	34.88
	川越市	女子	8.78	10.25	11.86	13.81	16.29	19.12	22.49	24.91	26.63
		県	8.88	10.45	12.21	14.00	16.40	19.40	22.24	24.94	26.49
上体起こし(cm)	川越市	男子	12.36	16.13	18.68	20.67	22.38	23.85	26.47	30.27	33.25
		県	12.73	15.93	18.30	20.21	22.06	23.84	26.27	30.43	33.10
	川越市	女子	11.49	15.10	17.42	19.54	20.92	22.48	23.95	27.21	28.49
		県	12.09	15.36	17.58	19.47	21.29	22.64	23.94	27.53	28.90
長座体前屈(cm)	川越市	男子	26.94	28.60	30.87	32.86	35.23	35.86	42.06	47.62	51.80
		県	27.23	29.14	31.14	33.12	35.22	37.53	43.01	47.88	52.34
	川越市	女子	29.43	31.75	34.55	36.64	39.95	41.64	46.58	49.56	52.24
		県	29.79	32.14	34.62	36.98	39.96	43.02	47.04	50.44	53.19
反復横とび(回)	川越市	男子	28.24	32.08	35.60	39.88	44.41	46.95	49.44	52.73	55.96
		県	29.02	33.23	36.99	41.16	44.91	48.00	49.63	53.51	56.57
	川越市	女子	26.15	29.97	33.63	37.96	41.95	45.00	46.53	48.16	48.86
		県	27.60	31.59	35.20	39.41	43.17	45.90	46.76	48.78	49.52
20mシャトルラン(指数)	川越市	男子	20.22	30.70	39.71	47.80	57.46	63.49	-	-	-
		県	23.30	33.37	42.01	50.09	58.10	65.58	-	-	-
	川越市	女子	17.71	24.79	30.76	38.63	46.49	52.54	-	-	-
		県	19.79	26.83	33.17	40.90	48.46	54.56	-	-	-
持久走(分秒)	川越市	男子	-	-	-	-	-	-	6'52"11	6'15"65	5'58"39
		県	-	-	-	-	-	-	6'50"52	6'15"83	6'02"17
	川越市	女子	-	-	-	-	-	-	4'47"66	4'34"21	4'37"25
		県	-	-	-	-	-	-	4'46"34	4'34"22	4'35"07

※小学校は、20mシャトルラン。中学校は、持久走。

※持久走の距離は、男子が1,500m、女子が1,000m。

3. 学校給食課 Tel : 049-223-6035 E-mail : gakokyushoku@city.kawagoe.saitama.jp

施設名	所在地	電話	ファクス	建築年度
菅間学校給食センター	菅間 18 - 9	223-3038	223-0935	平成17年
菅間第二学校給食センター	菅間 18 - 1	229-6670	229-5105	平成29年
今成学校給食センター	今成 2 - 35 - 5	223-0891	226-4556	昭和44年 ※H5改築

令和元年度学校給食センター別給食数及び担当校一覧

(令和元年.5.1現在)

センター名	給食数	小・中別	対象校
菅間学校給食センター (※給食規模：12,000食)	11,757食	小学校 20校	川越第一・川越・中央・仙波・武蔵野・大塚・泉・月越・今成・芳野・古谷・南古谷・牛子・寺尾・大東東・大東西・霞ヶ関東・上戸・広谷・山田
菅間第二学校給食センター (※給食規模：12,000食)	7,345食	小学校 12校	新宿・高階・高階南・高階北・高階西・福原・霞ヶ関・霞ヶ関南・霞ヶ関北・霞ヶ関西・川越西・名細
	4,789食	中学校 11校 特別支援学校 1校	初雁・城南・芳野・東・南古谷・高階・高階西・砂・寺尾・福原・山田・特別支援学校
今成学校給食センター (※給食規模：6,000食)	4,404食	中学校 11校	川越第一・富士見・野田・大東・大東西・霞ヶ関・霞ヶ関東・霞ヶ関西・川越西・名細・鯨井
合計	28,295食	55校	

(1) 学校給食・食育の充実

①食育の推進

【令和元年度事業予定】

- ・創意工夫を生かした楽しい食事の場を提供し、児童生徒が生涯健康で充実した生活を送るための基礎知識を身に付けるため、食に関する指導の充実を図る。
- ・学校給食を通して望ましい食習慣、食べる物に対するありがたさ、食事ができることへの感謝の気持ちを培い、好ましい人間関係の育成に努める。

【平成30年度事業実績】

- ・栄養士が市内小学校を訪問し、2年生約3,000人を対象に食に関する指導を年2回実施した。

②給食指導、給食への理解

【令和元年度事業予定】

- ・学校給食を通して家庭・地域との連携を図り、食に関する指導の推進に努める。
- ・児童生徒の食生活の基本である家庭との連携を図るため、給食内容や食生活の指導等を中心とした「給食だより」や広報紙「いきいき」などを発行する。
- ・親子で参加する夏休み料理教室、農産物の生産現場や食品加工などの現場を見学する食の探検隊等を開催する。

【平成30年度事業実績】

- ・「給食だより」を年5回発行、広報紙「いきいき」を年1回発行した。
- ・夏休み料理教室を7月、食の探検隊を11月に開催した。

③試食会

【令和元年度事業予定】

- ・児童生徒の保護者に学校給食への理解を深めてもらうこと、学校給食の普及・充実に努めるため実施する。

【平成30年度事業実績】

- ・46回の開催で約1,750人が参加した。

④地場農産物

【令和元年度事業予定】

- ・お米をはじめとして、ほうれん草、小松菜、チンゲン菜、枝豆、とうもろこしなどの川越産農産物や旬の食材を献立に取り入れ、季節感のある魅力的な献立の充実に努める。

【平成30年度事業実績】

- ・川越産米の使用実施は約242tであり、使用割合は100%である。
- ・地場農産物や旬の食材を導入するなど、特色ある献立の充実に努めた。(平成30年度は米、ほうれん草、小松菜、チンゲン菜、人参、枝豆、とうもろこしなど17品目の川越産農産物を使用した。)

⑤学校給食施設の整備

【令和元年度事業予定】

- ・PFIによる菅間第二学校給食センターについて、事業者が実施した施設の維持管理状況を検査する。

【平成30年度事業実績】

- ・PFIによる菅間第二学校給食センターについて、事業者が実施した施設の維持管理状況を検査した。
- ・菅間学校給食センター及び今成学校給食センターの施設設備の改修を計画的に実施した。

⑥食材の安全確保、学校給食食材の放射性物質検査

【令和元年度事業予定】

- ・安全、安心でおいしい学校給食のために、食材料の安全確保に努める。
- ・学校給食の安全性について市民の皆様に更に安心していただくため、食材の放射能検査機器を用いて、毎日3品目程度の食材と1食分の完成品について、放射性物質の自主検査を実施する。

【平成30年度事業実績】

- ・563品目の食材と188食分の完成品について放射性物質の自主検査を実施した結果、すべて不検出となっている。

学校給食費

・給食費は、金融機関による口座引き落とし（一部納付書払い）により、児童、生徒の保護者から徴収している。

①学校給食費

区分	月額	年額	徴収月数	給食日数	1食当たり単価	備考
小学校	4,350円	47,850円	11か月	186日	257円25銭	平成27年4月改定
中学校	5,250円	57,750円	11か月	186日	310円48銭	平成27年4月改定

②1食当たり単価（保護者負担額）

区分	主食	牛乳	副食	計	備考
小学校	45円87銭	200cc 53円02銭	158円36銭	257円25銭	平成27年4月改定
中学校	58円91銭	200cc 53円02銭	198円55銭	310円48銭	平成27年4月改定

学校給食摂取基準

・学校給食の食事内容については、文部科学省の「学校給食摂取基準」に基づく栄養的にバランスのとれた献立内容の充実に努めている。
 現行の基準は平成30年8月に改定され、次のように定められている。

区分	小学校児童の場合			中学校生徒の場合
	低学年（6～7歳）	中学年（8～9歳）	高学年（10～11歳）	
エネルギー (kcal)	530	650	780	830
たんぱく質 (%)	学校給食による摂取エネルギー全体の13～20%			
脂質 (%)	学校給食による摂取エネルギー全体の20～30%			
ナトリウム（食塩相当量）(g)	2未満	2未満	2.5未満	2.5未満
マグネシウム (mg)	40	50	70	120
カルシウム (mg)	290	350	360	450
鉄 (mg)	2.5	3	4	4
ビタミンA (μg RE)	170	200	240	300
ビタミンB1 (mg)	0.3	0.4	0.5	0.5
ビタミンB2 (mg)	0.4	0.4	0.5	0.6
ビタミンC (mg)	20	20	25	30
食物繊維 (g)	4以上	5以上	5以上	6.5以上

※表に掲げるもののほか、次に掲げるものについてもそれぞれ示した摂取について配慮すること。

亜鉛……………児童(6～7歳)2mg・(8～9歳)2mg・(10～11歳)2mg、生徒(12～14歳)3mg

Ⅱ 学校教育 教育センター

4. 教育センター Tel : 049-235-7591 E-mail : kyoikucenter@city.kawagoe.saitama.jp

(1) 名称 川越市立教育センター

(2) 所在地 川越市古谷上6083-10 (電話 049-235-7591・ファクス 049-230-1023)

(3) 沿革

昭和56年8月1日 川越市立教育研究所準備室を設置する。

昭和61年4月1日 川越市立教育研究所を開設する。

平成12年4月1日 川越市教育総合相談センター(リベアラ)を開設する。

平成15年4月1日 中核市移行に伴い、学校教育部教育研究所に組織改編される。管理係、研修係、教育相談係を置く。

平成19年4月1日 組織改編に伴い係を廃止し、管理担当、研修担当、教育相談担当を置く。

平成21年4月1日 旧川越市立古谷東小学校を教育研究所施設とする。

平成22年4月1日 川越市立教育研究所を廃止し、川越市立教育センターを設置する。併せて、川越市立教育センター分室(リベアラ)を設置する。

平成27年4月1日 いじめ相談直通電話を教育センター分室(リベアラ)から移設する。

(4) 業務内容

＜センター研修及び学校の要請に基づく研修に関すること＞

① 各経験者研修(初任者、5年、中堅教諭等、20年)や各教科研修等の企画・運営

＜教育に関する専門的、技術的事項の調査研究に関すること＞

① 学力向上に関する調査・研究

② 情報教育に関する調査・研究

③ 小学校外国語活動・中学校英語に関する調査・研究

④ 不登校に関する調査・研究

⑤ 特別支援教育推進に関する調査・研究

＜教育に関する資料の収集及び提供に関すること＞

① 図書、研究物の収集整理に関すること

② 学習指導関係資料の収集整理に関すること

③ 雑誌、パンフレット等の収集整理に関すること

④ 視聴覚教材の収集整理に関すること

⑤ 上記の資料等の利用、提供に関すること

(1) 教職員の資質向上

【令和元年度事業予定】

・経験者研修、特定研修、専門研修、教育フェスタKAWAGOEの充実を図る。

【平成30年度事業実績】

平成30年度川越市主催研修・埼玉県主催研修参加者一覧

	研修区分	研修概要	参加者数(人)
川越市主催	1 経験者研修	教員の経験段階に応じた研修である。特に、初任者研修、中堅教諭等資質向上研修は、法定研修であり、5年経験者研修、20年経験者研修とともに本市の特色ある研修である。	487
	2 特定研修（指定）	学校の教育推進のために、各学校の教育課題の解決を図るため、指定された対象者に対して実施する研修である。	2,397
	3 専門研修（希望研修）	教科・領域等研修で、教職員の資質向上のために希望して参加できる研修である。外国語活動や道徳など新学習指導要領に対応する研修等教員のニーズに応える研修である。	559
	4 管理職研修	校長、教頭等の管理職や管理職候補者を対象とした研修である。	225
	5 要請研修	学校の要請に応じて支援援助し、指導力の向上を図る研修である。	573
	6 特別研修	教職員一人一人が主体的に学び、資質・能力の向上を図る研修で、「教育フェスタKAWAGOE」として実施している。	501
川越市合計			4,742
埼玉県主催	総合教育センター	特定研修（推薦）	33
		管理職研修（3事業）	28
		専門研修（希望）	15
		年次研修	5
		総合教育センター小計	81
	各課研修	人権教育課	122
		義務教育指導課	0
		高校教育指導課	0
		保健体育課	212
		特別支援教育課	47
		生徒指導課	55
		小中学校人事課	69
		県立学校部県立学校人事課	1
		教職員採用課	0
	各課小計	506	
埼玉県合計			587
川越市・埼玉県合計			5,329

※その他、県教委や民間等の研修に、本人の希望や市教委の推薦（または選考）により参加する研修がある。

II 学校教育 教育センター

(2) 情報教育の推進

【令和元年度事業予定】

- ・情報化の進展に対応する児童生徒を育成するため、タブレット型コンピュータの導入やコンピュータ等の機種更新に努め、効果的な活用についての先進的な研究を行う。
- ・市内小・中学校のすべての学級で情報教育機器を活用した授業が行われるよう、教職員のICT活用指導力の向上を目指した研修会の充実を図る。
- ・情報機器を活用した授業の実践例の紹介、新たに導入したソフトウェア・導入機器の操作方法説明等、研修内容の工夫・改善に努める。
- ・普通教室でインターネット接続ができるよう校内LANの整備を進め、教育の情報化に対応する。

【平成30年度事業実績】

- ・ICT機器の効果的な活用について各種研修会(4講座のべ175人参加)を実施し、教員の操作技術の向上を図った。
- ・児童生徒が情報及び情報手段を主体的に収集し、選択して活用したり、発信したりすることができる情報モラルを含む情報活用能力の育成に努めた。
- ・情報化の進展に対応する児童生徒を育成するため、電子黒板やデジタル教科書、実物投影機等の効果的な活用について、実践的な研究を進めた。
- ・小学校15校に校内LANの整備及び、タブレット型コンピュータを導入した。

(3) 英語指導助手(AET)の配置事業の充実と活用

【令和元年度事業予定】

- ・国際化の進展に対応し、広い視野と国際感覚を持った児童生徒を育成するため、市立小、中、高等学校、特別支援学校に配置されているAETの指導力の向上を図る。
- ・小学校での第3学年から第6学年における学級担任との外国語活動や中、高等学校での英語科教員との共同授業において、AETをより効果的に活用できる配置を進めていく。
- ・AETのより効果的な活用や英語の研修を通して教員の指導力の向上を図り、「聞く」、「話す」、「読む」、「書く」の4技能のバランスを取りながら、体験的、実践的な英語教育の充実を推進していく。

【平成30年度事業実績】

- ・現地採用5人、KET2人、JET6人、派遣契約17人の英語指導助手(AET)を配置した。
- <訪問実績>

- ・英語指導助手(AET)30人
- ・AETの共同授業による1日平均授業時数(時間) 小学校4.5 中学校4.0
- ・AETの1校あたりの年間訪問日数(日) 小学校57.8 中学校115.9
- ・AETの年間全訪問日数(日)
小学校 1,849 中学校 2,549 市立川越高等学校 160 合計 4,558

英語指導助手配置状況の推移

(単位:人)

	H2	H3	H4 ~7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18 ~21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
JET	1	1	1	1	2	2	2	3	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
KET	2	2	3	5	5	6	7	7	8	10	8	5	5	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2
現地	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	3	3	5	4	5	3	3	4	4	5	5	5
業務委託	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5	9	11	13	14	—	—	—	—	—	—	—	—
派遣	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	14	16	16	16	17	17	17	17
合計	3	3	4	6	7	8	9	10	11	13	15	17	19	21	21	21	21	21	22	23	24	24	30

※JET(語学指導等を行う外国青年招致事業) KET(川越市姉妹都市交流事業) 現地(川越市在住外国人)

委嘱学校研究等一覧

1. 川越市教育委員会研究委嘱校（2年目）

学校名	教科等	発表予定日	研究主題
①川越第一小学校	国語科 社会科	未定	「個性を伸ばし、創造性を育む学習指導の充実」 ～算数科のスタンダードを他教科にひろげて～
②川越小学校	教育課程	11月5日(火)	「豊かなかかわり合いの中で、今と未来にいきる」 ～教科等横断的な資質・能力を育成する～
③武蔵野小学校	学級活動	1月31日(金)	「よりよい学級・学校生活づくりに主体的に参画する児童の育成」 ～児童の主体性、自己指導能力の育成を目指した学級活動の実践～
④南古谷小学校	国語科 算数科	1月28日(火)	「自ら学び続ける児童の育成」 ～できる喜びを感じる指導の研究～
⑤牛子小学校	道徳科	11月15日(金)	「心豊かで思いやりのある児童の育成」 ～自己の生き方について考えを深めるための道徳教育の推進～
⑥高階南小学校	算数科	未定	「自分の考えを持ち、表現できる児童の育成」
⑦福原小学校	道徳科	2月7日(金)	「互いを高め合い認め合うことのできる児童（生徒）の育成」 ～小中9年間の学びと育ちの連続性を重視した教育～
⑧福原中学校			
⑨南古谷中学校	教育課程	10月18日(金)	「地域と学校が一体となった開かれた学校づくり」

2. 川越市教育委員会研究委嘱校（1年目）

学校名	教科等	研究主題
①川越第一小学校	歯・口の健康づくり	自身の健康に関心を持ち、望ましい生活習慣を身につけた児童の育成 ～自ら学び、実践する「歯・口の健康づくり」を通して～
②大東西小学校	特別活動	互いによく聴き、よりよく考え、自分の思いを表現できる児童の育成 ～特別活動を基盤にした学力向上～

※委嘱学校研究校は2年計画で行っている。

2年目の9校は平成30年度、令和元年度の委嘱学校研究校、1年目の2校は令和元年度からの委嘱学校研究校

3. 小中連携教育研究指定校

学校名	事業名
福原小学校	「福原中学校との小中一貫教育を見据えて」
福原中学校	「福原小学校との小中一貫教育を見据えて」
霞ヶ関小学校	「霞ヶ関中学校との小中一貫教育を見据えて」
霞ヶ関南小学校	「霞ヶ関中学校との小中一貫教育を見据えて」
霞ヶ関中学校	「霞ヶ関小学校、霞ヶ関南小学校との小中一貫教育を見据えて」

4. 外国語活動及び外国語科研究指定校

学校名	事業名
山田小学校	「外国語活動及び外国語科の効果的な指導方法等について」

5. 文科省委託事業（埼玉県教育委員会再委託事業）

学校名	事業名
霞ヶ関西小学校	「学校安全総合支援事業（学校安全推進体制の構築）」
霞ヶ関西中学校	

6. 文科省委託事業

学校名	事業名
霞ヶ関小学校	「がん教育総合支援事業」

II 学校教育 教育センター分室（リベアラ）

5. 教育センター分室（リベアラ） Tel : 049-234-8333 E-mail : rivera@city.kawagoe.saitama.jp

- (1) 川越市立教育センター分室（リベアラ）
 - (2) 所在地 川越市的場2649-1（電話 049-234-8333・ファクス 049-234-8337）
 - (3) 沿革
 - 昭和39年 川越市教育相談室を川越小学校内に開設する。
 - 昭和53年 中央小学校内に移設（川越小学校校舎改修のため）する。
 - 昭和55年 初雁中学校内に移設（中央小学校校舎改修のため）する。
 - 昭和56年 川越小学校内に移設（川越小学校新築に伴い）する。
 - 昭和58年 電話相談室を川越小学校内に開設する。
 - 平成元年 学校カウンセラー室を川越小学校内に開設する。
 - 平成6年 学校適応指導教室を中央公民館内に開設する。
 - 平成12年 川越市教育総合相談センター・リベアラを開設する。
 - 平成15年 中核市移行に伴い、学校教育部教育研究所所管となる。
 - 平成18年 いじめ相談直通電話を開設する。
 - 平成22年 川越市立教育センター分室（リベアラ）に名称を変更する。
 - 平成25年 いじめ相談電子窓口を開設する。
 - 平成27年 いじめ相談直通電話を川越市立教育センターに移設する。
 - (4) 設置の目的
児童生徒の多様な悩み等に対して、本人、保護者及び教職員にその望ましい在り方や解決について援助し、不適応を改善するとともに、それぞれの人格の成長及び自己実現を図る。
 - (5) 教育相談の内容等
 - ① 相談内容
 - ・ことばや発達の遅れに関するもの
 - ・性格や行動に関するもの
 - ・不登校傾向など学校への不適応に関するもの
 - ・その他
 - ・精神的な不安や身体に関するもの
 - ・学齢期のしつけ等に関するもの
 - ・非行・問題行動に関するもの
 - ② 相談受理対象者
川越市内に居住する幼児児童生徒及びその保護者並びに川越市立学校教職員
 - ③ 相談日時
月曜日から金曜日（祝休日を除く）、（受付時間 午前9時～午後5時）
 - ④ 電話相談
月曜日から金曜日（祝休日を除く）、（受付時間 午前9時～午後4時）
 - ⑤ 適応指導教室（小学生及び中学生対象教室）
 - <開設日及び開設時間>
 - ・開設日 月曜日から金曜日（祝休日を除く）
 - ・開設時間 午前9時30分～午後3時
 - <通室までの手順及び手続き>
 - ・直接または校長と相談のうえ申込み→面接相談→体験通室→通室申請→通室決定
- (川越市立教育センターにおいて開設)
- ① いじめ相談直通電話
月曜日から金曜日（祝休日を除く）、（受付時間 午前9時～午後5時）
土曜日・日曜日・祝休日（12月29日～1月3日を除く）、（受付時間 午前9時～正午）
 - ② いじめ相談電子窓口
川越市公式ホームページから電子メールで相談する。

（１）教育相談の充実

【令和元年度事業予定】

- ・教育に関する悩みや心配等を抱えている保護者や小学生、中学生等の支援を行う。
- ・全市立中学校に配置している、さわやか相談員の活用を図り、不安や悩みをもつ生徒が相談しやすい教育相談体制を推進する。
- ・スクールカウンセラーや教育センター分室（リベール）の臨床心理士、スクールソーシャルワーカーなど、専門的知識を有する人材を活用し、小・中学校の児童生徒、保護者に対する教育相談体制の充実を図る。

【平成30年度事業実績】

- ・リベールにおける教育相談の延べ件数は、3,878件あった。そのうち面接相談の件数3,442件、電話相談217件、いじめ相談直通電話72件、いじめ相談電子窓口6件、火曜相談141件だった。臨床心理士の指導・助言を得ながら、より適切な相談活動を行うことができた。
- ・全市立中学校に1人ずつ配置したさわやか相談員が、小・中学生、その保護者等延べ13,369人の相談に対応した。
- ・週1回から2週間に1回の割合で配置されているスクールカウンセラーが、児童生徒やその保護者への面接、教職員への助言など、併せて6,224回の相談を行った。

（２）いきいき登校サポートプランの推進

【令和元年度事業予定】

- ・全市立小中学校における不登校問題の解消に向けて、地元の大学で心理学を学ぶ学生（チューデント・サポーター）や教育センター分室に配置されている臨床心理士及びソーシャルワーカーの活用を図ることで、学校、専門家、地域が連携し、「いきいき登校サポートプラン」を更に推進する。

【平成30年度事業実績】

- ・11人の学生が延べ251回の活動を行った。
- ・臨床心理士を年間45回、教育センター分室（リベール）に配置し、特に配慮を要する難しいケースについてより専門的な対応を実施できた。

（３）特別支援教育の充実

①就学支援委員会の充実

【令和元年度事業予定】

- ・小・中学校への就学予定者及び小・中学校に在籍する児童生徒のうち、教育上特別な措置又は支援を必要とする者に対して、一人一人のニーズに応じた教育的診断を行い、就学の適正化を図るために、学識経験者、医師、学校教育機関の代表者、関係行政機関の職員で構成する就学支援委員会の充実を図る。

【平成30年度事業実績】

- ・就学支援が必要な児童生徒に対して、諸検査の実施や学校訪問による観察、就学前施設への聞き取り等を通して、状況を的確に把握し就学先を判断した。その際、情報収集に努め、再度諸検査を実施し、更に聞き取りを行った。
- ・判断と異なる就学先を希望する保護者に対しては、継続の相談を行い、適正な就学先を決定できるようにした。
- ・就学支援委員会実施回数 10回 就学相談実施人数 348人

Ⅱ 学校教育 教育センター分室（リベール）

②特別支援教育支援員の配置

【令和元年度事業予定】

- ・校内の特別支援教育体制を充実させるとともに、自立支援サポーターの活用を図り、通常の学級における支援の推進に努める。
- ・小・中学校に設置している特別支援学級の児童生徒や通常の学級にいる車椅子等の障害のある児童生徒一人一人の障害の特性等に配慮した指導・支援の充実に努める。

【平成30年度事業実績】

- ・通常の学級に在籍する児童生徒の中で、学習障害（LD）、注意欠如多動性障害（ADHD）、高機能自閉症等の発達障害があるなどの個別の支援を必要としている児童生徒数は、年々増加しており、各学校からの自立支援サポーターの申請数が増えた。
- ・申請の出された学校には、各学校の実態に応じて1～2日の範囲で、自立支援サポーターをすべて配置した。
- ・対応した児童数 1,578人 対応した生徒数 238人
- ・特別支援学級でも通常の学級でも、個々の教育的ニーズに対応する児童生徒数は増加しており、人的環境を整えることで、学校運営を支援することができた。

さわやか相談室

(1) 川越市さわやか相談員の活動場所及び活動内容

- ① 活動場所…主に全市立中学校に設置されているさわやか相談室
- ② 活動内容…相談室における教育相談、小学校訪問、不登校児童生徒の家庭訪問など

(2) 相談内容

- ① いじめや不登校の問題をはじめ、友人関係や性格・行動等、児童生徒の心の悩みの相談
- ② 児童生徒のことで悩んでいる保護者の相談

(3) 相談日時

月曜日から金曜日（各学校の相談室で定めた時間）

学 校 名	さわやか相談室電話番号（直通）	学 校 名	さわやか相談室電話番号（直通）
川越第一中学校	223-8022	砂 中 学 校	246-1322
初 雁 中 学 校	225-8022	福 原 中 学 校	247-0022
富 士 見 中 学 校	248-6722	大 東 中 学 校	247-1322
野 田 中 学 校	241-2322	大 東 西 中 学 校	248-1722
城 南 中 学 校	248-6822	霞ヶ関中学校	231-7322
芳 野 中 学 校	226-8722	霞ヶ関東中学校	232-0622
東 中 学 校	235-2622	霞ヶ関西中学校	233-3722
南古谷中学校	235-1722	川越西中学校	233-6622
高 階 中 学 校	243-2122	名 細 中 学 校	231-8822
高階西中学校	243-8122	鯨 井 中 学 校	233-6822
寺 尾 中 学 校	247-0522	山 田 中 学 校	226-5022

特別支援学級

1. 知的障害特別支援学級：知的な障害のある児童生徒を対象に設置

(小学校)

学校名	学級数	学校名	学級数
川 越 小 学 校	1	中 央 小 学 校	1
仙 波 小 学 校	1	武 蔵 野 小 学 校	1
大 塚 小 学 校	2	月 越 小 学 校	1
古 谷 小 学 校	1	南 古 谷 小 学 校	1
牛 子 小 学 校	1	高 階 小 学 校	1
高 階 南 小 学 校	1	高 階 北 小 学 校	2
福 原 小 学 校	1	霞 ヶ 関 小 学 校	1
霞 ヶ 関 西 小 学 校	1	名 細 小 学 校	2
広 谷 小 学 校	1	山 田 小 学 校	1

Ⅱ 学校教育 教育センター分室（リベール）

（中学校）

学校名	学級数	学校名	学級数
初雁中学校	1	富士見中学校	2
東中学校	1	高階中学校	2
寺尾中学校	1	砂中学校	1
霞ヶ関中学校	2	霞ヶ関西中学校	1
名細中学校	1		

2. 自閉症・情緒障害特別支援学級：自閉症や情緒に障害のある児童生徒を対象に設置 （小学校）

学校名	学級数	学校名	学級数
川越小学校	3	中央小学校	2
仙波小学校	1	武蔵野小学校	1
大塚小学校	2	月越小学校	2
古谷小学校	2	南古谷小学校	2
牛子小学校	1	高階小学校	2
高階南小学校	1	高階北小学校	4
高階西小学校	1	福原小学校	2
霞ヶ関小学校	3	霞ヶ関南小学校	1
霞ヶ関東小学校	1	霞ヶ関西小学校	1
名細小学校	2	広谷小学校	1
山田小学校	2		

（中学校）

学校名	学級数	学校名	学級数
初雁中学校	2	富士見中学校	3
東中学校	1	南古谷中学校	1
高階中学校	1	寺尾中学校	1
砂中学校	1	福原中学校	1
霞ヶ関中学校	1	霞ヶ関西中学校	1
名細中学校	2		

3. 弱視特別支援学級：視覚障害のある児童を対象に設置

学校名	学級数
川越西小学校	1

4. 肢体不自由特別支援学級：身体に関する障害のある生徒を対象に設置

学校名	学級数
富士見中学校	1

通級指導教室

学校名	学級数	対象
川越小学校	3	通常の学級に在籍している言語や聴覚に軽度の障害がある児童
霞ヶ関小学校	1	
中央小学校	2	通常の学級に在籍している軽度の発達障害や情緒障害がある児童生徒
高階小学校	2	
霞ヶ関小学校	2	
富士見中学校	2	

特別支援学校

- 昭和39年4月 川越市立養護学校として開校（小学部、中学部、高等部を漸次拡張）
- 昭和47年4月 県立川越養護学校開校に伴い、小学部、中学部を県立に移管する。
- 平成22年4月 川越市立特別支援学校に名称変更（現在の対象は、高等部のみになっている。）

Ⅱ 学校教育 市立川越高等学校

6. 市立川越高等学校 Tel : 049-243-0800 E-mail : kawagoekou@city.kawagoe.saitama.jp

- (1) 名称 川越市立川越高等学校
- (2) 所在地 旭町2-3-7 (電話 049-243-0800・ファクス 049-247-6828)
- (3) 沿革

市立川越高等学校は、平成14年度に川越商業高等学校から校名変更し、普通科・情報処理科・国際経済科に再編してから18年になる。

普通科では、ここ数年、大学・短大の現役進学率が65%前後となり、商業系学科では「川商」創立から94年の歴史と伝統を活かし、引き続き専門資格の高い取得率と進学・就職実績を上げている。

卒業生は2万5千人を超えており、さまざまな分野で活躍をしている。

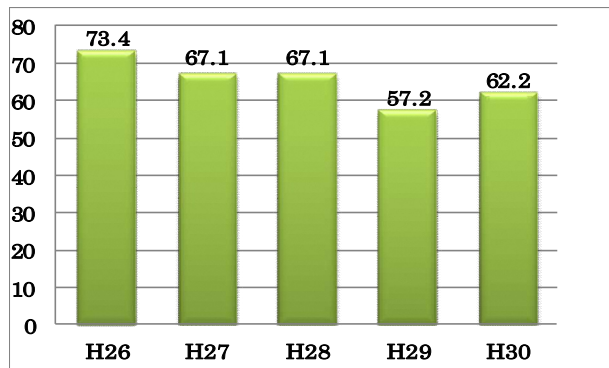
(1) 進路希望の実現

【令和元年度活動予定】

- ・平成24年度の1年生から導入したすべての学科の35人少人数学級編制及び入学者選抜における「地域特別選抜」を引き続き実施する。
- ・3年生では進路希望に合わせた科目を選択し、一人一人にきめ細かな学習指導を実施する。

【平成30年度活動実績】

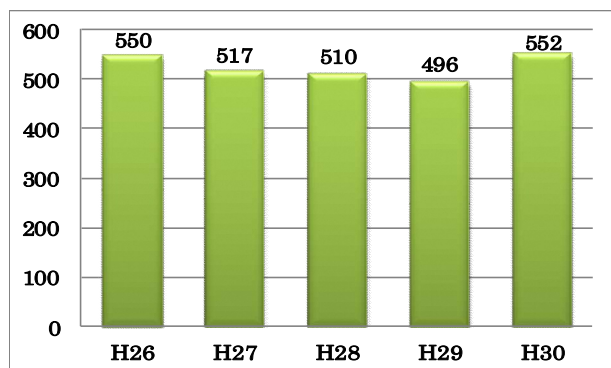
進路指導実績 (下グラフ：普通科の大学・短大進学率)



○主な進学先 (平成31年3月実績)

埼玉大(国)、信州大(国)、学習院大、明治大、立教大、中央大、法政大、日本大、東洋大、駒澤大、武蔵大、文教大、大東文化大、他

検定試験1級合格者数



検定種目(8種)：簿記、情報処理(ビジネス情報・プログラミング)、ビジネス文書、電卓、英語、商業経済、珠算

○主な就職先 (平成31年3月卒)

(株)武蔵野銀行、飯能信用金庫、日本郵便(株)、(株)プリンスホテル、西武鉄道(株)、総務省、国税局、埼玉県庁、埼玉県警、警視庁、他

(2) 部活動の充実

【令和元年度活動予定】

- ・文化部と運動部で合計33部が、より高い水準をめざして活発に活動を続けている。生徒が主体性を持ち積極的に活動できるよう、充実した指導を行っていく。

【平成30年度活動実績】

- ・バレーボール部
関東高等学校女子バレーボール大会埼玉県予選 ベスト8
全国高等学校総合体育大会埼玉県予選 ベスト8
全国高等学校バレーボール選手権大会埼玉県予選 ベスト8

- 埼玉県新人大会 優勝
- ・野球部
 - 春季埼玉県高等学校野球大会 5位 (ベスト8)
 - 全国高等学校野球選手権大会南埼玉大会 5位 (ベスト8)
- ・O A部 (ワープロ競技)
 - 埼玉県高等学校ワープロ競技大会 個人優勝
 - 全国高等学校ワープロ競技大会 個人出場 (全国大会出場：40回以上)
- ・女子バスケットボール部
 - 関東高等学女子バスケットボール大会埼玉県予選 5位 (ベスト8)
 - 全国高等学校総合体育大会埼玉県予選 優勝 (全国大会出場)
 - 全国高等学校総合体育大会 (東海インターハイ) 2回戦進出 (全国ベスト32)
 - 全国高等学校バスケットボール選手権大会 (ウィンターカップ) 埼玉県予選 3位
 - 埼玉県新人大会 4位
- ・チアダンス部
 - 全国高校ダンスドリル選手権大会2018 関東予選 3位 同全国大会 6位
 - USA School & College Competition EAST 2018 7位
 - 全日本チアダンス選手権大会 関東予選 2位 同決勝大会 3位
- ・女子柔道部
 - 関東大会埼玉県予選 団体 ベスト8
 - 埼玉県新人大会 団体 ベスト8
- ・体操部
 - 関東高等学校体操競技大会埼玉県予選会 男子団体6位
 - インターハイ埼玉県予選会 男子団体7位
 - 埼玉県新人大会 女子団体7位

(3) 中高連携の推進

【令和元年度活動予定】

- ・市内中学校3校 (城南中、高階西中、寺尾中) と市立高等学校では、川越市の教育の一層の充実を図るため中高連携に取り組んでいく。職員、生徒、保護者の連携を図り、特色ある教育活動を通して、その検証結果をもとに、市内中学校や高等学校に、その成果を普及させ、更なる先導的な役割を果たしていく。

【平成30年度活動実績】

- ・高校の授業を理解してもらい、進路指導の一助にしてもらうため、中学校へ本校の職員が出向き、中学生向きの出前授業を実施した。また、小学生と高校生との交流や小学生へへの出前授業も平成25年度から実施している。
- ・中学3年生を対象に、市内10校において出前授業を行った。
- ・本校の女子バスケットボール部が大塚小学校6年生にバスケットボールの指導を行い、交流した。
- ・本校理科教諭が新宿小学校及び月越小学校の5・6年生に対し、理科実験の出前授業を行った。